

奪い取った首位の座、ここからが真の勝負 守り抜くことで本物の強者になる

KASHIWA REYSOL WINNING GUIDE

Vitória

VOL.
525みんなて楽しいスタジアムをつくらう。
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです。No Bribes
or Cans
ビン、カン等の
持ち込み禁止No Fireworks, Smoke,
Candles or Horns
花火、爆竹、焚火、香
ガス等の持ち込み禁止No Throwing
フィールドへの
投げ込み禁止No Jumping Down
to the Field
フィールドへの
飛び降り禁止No Violence
暴力行為の禁止2026/27
MEIJI YASUDA J.LEAGUE
DIVISION 1 SEC.10
2026.10.17 SAT

名古屋グランパス

チカラを
ひとつに。
- TEAM AS ONE -

昨シーズン、レイソルがリーグ優勝にあと一步届かなかった要因の一つとして挙げられるのが、上位陣との直接対決で勝ち切れなかったことだった。しかし今シーズンはFC町田ゼルビアに続き、前節時点で首位に立っていたヴィッセル神戸との直接対決も制し、前節でついに首位の座を奪い取った。相手の高い強度とロングボールを中心とした攻撃に苦しみ、レイソルの代名詞であるボールを保持して押し込み続けることが難しい時間帯もあった。それでも相手のプレッ

シャーを剥がした際のパスワークと、スピーディーなトランジションから好機を作り、優勢に試合を進めた。試合中には馬場晴也、若原智哉が負傷交代するアクシデントに見舞われながらも、交代で出場した戸嶋祥郎、永井堅悟が好プレーで応えるなど、優勝を争うライバルを相手に4得点を奪って勝ち切ったことは、チームの成長を示す大きな1勝となった。

今節対戦する名古屋グランパスも調子を上げている。リーグ戦4連敗を川崎フロンターレ戦の勝利で止めると、ミッド

ウィークのルヴァンカップでもファジアーノ岡山をPK戦の末に退けた。積極的なプレスと球際の強さに加え、永井謙佑の背後への抜け出し、森島司のセットプレーなど、警戒すべき武器は多い。

両チームとも中2日で迎える一戦。レイソルにとっては、まさに総力戦となる。リカルド監督は「首位にいることが心地よい状態になる」ことの重要性を説いた。首位に立つだけでなく、その座を守り続ける。ヴィッセル戦で示した強さを、今節の勝利につなげたい。

クラブ応援プランで、
レイソルの強化に協力しよう!

加入はこちらから▲



2026/27明治安田Jリーグ全試合を、
DAZNが配信。

DAZN.COM

ハナメグミの
お絵かき
日立台!
~2026/27~

しゅ、首位です!首
位!なんていい気
分!浮かれすぎ!
ありがとう(意味
不明)。この絶好
調は誰にも止
められない~!こ
のまま進むぞ!!



柏レイソル 名古屋グランパスKASHIWA
Reysol

[監督] リカルド ロドリゲス

1	GK	猿田 遥己	Ⓜ
2	DF	三丸 拓	
3	DF	麻田 将吾	
4	DF	古賀 太陽	Ⓜ
5	MF	遠藤 溪太	Ⓜ
6	MF	山田 雄士	Ⓜ
8	MF	小泉 佳穂	Ⓜ
9	FW	細谷 真大	Ⓜ
11	MF	渡井 理己	Ⓜ
13	DF	犬飼 智也	
14	MF	大久保 智明	
15	FW	藤尾 翔太	
16	MF	木本 康也	
17	MF	手塚 康平	Ⓜ
18	FW	垣田 裕輝	
19	MF	仲間 隼斗	Ⓜ
20	MF	瀬川 祐輔	
21	MF	小西 雄大	
23	MF	長南 開次(2種)	Ⓜ
24	MF	久保 藤次郎	
25	GK	小島 亨介	
26	DF	杉岡 大暉	
27	MF	熊坂 光希	Ⓜ
28	MF	戸嶋 祥郎	
29	GK	永井 堅梧	
30	MF	古谷 柊介	
32	DF	山之内 佑成	
33	MF	岩永 創太	
39	MF	中川 敦瑛	Ⓜ
40	MF	原川 力	Ⓜ
42	DF	原田 亘	Ⓜ
43	MF	加茂 結斗(2種)	
44	MF	弓場 堅真	
45	DF	佐藤 桜久(2種)	
46	GK	松本 健太	Ⓜ
51	FW	満田 誠	
56	DF	常藤 奏	
64	MF	五十嵐 陵(2種)	
77	GK	若原 智哉	
87	MF	山内 日向汰	
88	DF	馬場 晴也	Ⓜ

STAFF

ヘッドコーチ/栗澤 僚一
コーチ/大谷 秀和、染谷 悠太
GKコーチ/井上 敬太
フィジカルコーチ/松原 直哉
フィットネスコーチ/長谷 篤

2026.10.17 SAT/三協フロンテア柏スタジアム

19:03 KICK OFF

予想スターティングメンバー



Stop! THE KEY PLAYER

2024年夏までレイソルに在籍していたボランチが、名古屋グランパスの選手として古巣との対戦を迎える。北海道コンサドーレ札幌時代からペトロヴィッチ監督のサッカーを知る中盤の要。長短のパスでゲームをコントロールし、ミドルシュートも強烈。機を見て前線に飛び出してゴールも奪える。中でも警戒すべきは強度の高い守備だ。レイソルの中盤が高嶺の守備をいなし、なおかつ彼の攻撃力を抑えられるかがポイントになりそうだ。

名古屋グランパス
31 MF 高嶺 朋樹NAGOYA
GRAMPUS

[監督] ペトロヴィッチ

1	GK	シュミット ダニエル	
2	DF	野上 結貴	Ⓜ
3	DF	佐藤 瑠大	Ⓜ
7	MF	和泉 竜司	Ⓜ
9	MF	浅野 雄也	Ⓜ
10	FW	マテウス カストロ	Ⓜ
11	FW	山岸 祐也	Ⓜ
13	DF	藤井 陽也	Ⓜ
14	MF	森島 司	Ⓜ
15	MF	稲垣 祥	Ⓜ
16	GK	武田 洋平	
17	MF	内田 宅哉	
18	FW	永井 謙佑	Ⓜ
19	MF	甲田 英将	Ⓜ
22	FW	木村 勇大	
25	FW	マルクス ヴィニシウス	
27	MF	中山 克広	Ⓜ
30	FW	杉浦 駿吾	Ⓜ
31	MF	高嶺 朋樹	Ⓜ
33	MF	菊地 泰智	
35	GK	ヒサノアレックス幸冬堀尾	Ⓜ
36	GK	萩 裕陽	Ⓜ
37	DF	久保 遥夢	
41	MF	小野 雅史	
44	DF	白川 昇斗(2種)	Ⓜ
45	DF	オディケ チソン太地(2種)	
46	DF	大磯 竜輝	
47	DF	竹内 悠三(2種)	Ⓜ
49	MF	深谷 翔共(2種)	Ⓜ
55	DF	徳元 悠平	
58	MF	小屋松 知哉	
70	DF	原 輝綺	

※出場停止:なし

STAFF

コーチ/砂川 誠、吉村 圭司、玉田 圭司、
大塚 俊介、綿引 大夢、深山 知生
GKコーチ/嵯峨 正剛、平田 俊英
フィジカルコーチ/山田 魁人、伊藤 駿佑

KASHIWA REYSOL 2026/2027 GAME SCHEDULE

明治安田J1リーグ

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	8月8日(土)	19:00	三協F柏	水戸ホーリーホック	○2-1
2	8月14日(金)	19:00	MUG国立	東京ヴェルディ	○3-1
3	8月21日(金)	19:00	三協F柏	V・ファーレン長崎	○4-2
4	8月29日(土)	18:30	アイスタ	清水エスパルス	○1-0
5	9月2日(水)	19:00	ハナサカ	セレッソ大阪	●0-2
6	9月6日(日)	19:00	三協F柏	横浜F・マリノス	●0-2
7	9月11日(金)	19:00	サンガS	京都サンガF.C.	○3-2
8	9月20日(日)	17:00	Gスタ	FC町田ゼルビア	○4-2
9	10月9日(金)	19:00	三協F柏	ヴィッセル神戸	○4-2
10	10月17日(土)	19:00	三協F柏	名古屋グランパス	—
11	10月21日(水)	19:00	味スタ	FC東京	—
12	10月24日(土)	15:00	メルスタ	鹿島アントラーズ	—
13	10月31日(土)	16:00	三協F柏	浦和レッズ	—
14	11月7日(土)	16:00	三協F柏	川崎フロンターレ	—
15	11月20日(金)	19:00	三協F柏	ジェフユナイテッド千葉	—
17	11月28日(土)	16:00	三協F柏	サンフレッチェ広島	—
18	12月6日(日)	16:00	三協F柏	アビスパ福岡	—
19	12月13日(日)	14:00	JFEス	ファジアーノ岡山	—
16	12月16日(水)	19:00	パナスタ	ガンバ大阪	—

※2027年開催分の詳細は、12月上旬に発表予定です。※1:2/24(水)に開催する可能性あり ※2:3/3(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり ※3:柏またはG大阪がACL Elite準々決勝進出の場合は4/1(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり ※4:柏がACL Elite準々決勝進出の場合は5/19(水)に開催する可能性あり ※5:柏または神戸がACL Elite準々決勝進出の場合は5/5(水・祝)もしくは5/26(水)に開催する可能性あり ※6:ルヴァンカップ決勝進出クラブの試合は4/21(水)、5/12(水)、5/19(水)、6/2(水)のいずれかに開催する可能性あり

◎1stラウンド

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
4	10月3日(土)	19:00	三協F柏	ガンバ大阪	○5-4

天皇杯

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
2	8月26日(水)	19:00	三協F柏	専修大学	○2-1
3	9月23日(水・祝)	17:00	三協F柏	FC今治	○4-0
R16	12月9日(水)	未定	未定	ファジアーノ岡山	—

J.LEAGUE DIVISION 1 順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得失点差
1	柏	21	9	7	0	2	7
2	広島	20	9	6	2	1	16
3	町田	20	9	6	2	1	12
4	FC東京	20	9	6	2	1	9
5	神戸	19	9	6	1	2	5
6	鹿島	16	9	5	1	3	3
7	横浜FM	15	9	4	3	2	4
8	川崎	13	9	3	4	2	3
9	岡山	13	9	4	1	4	0
10	清水	13	9	4	1	4	-1
11	浦和	12	9	4	0	5	-5
12	C大阪	12	9	3	3	3	-5
13	水戸	9	9	2	3	4	-1
14	長崎	9	9	2	3	4	-5
15	名古屋	9	9	3	0	6	-6
16	京都	8	9	2	2	5	-5
17	福岡	7	9	2	1	6	-2
18	G大阪	6	9	1	3	5	-8
19	千葉	5	9	1	2	6	-11
20	東京V	4	9	0	4	5	-10

2026年10月12日現在



——前節のヴィッセル神戸戦は、長い時間ボールを保持して押し込むというよりは、カウンターからの攻撃が多かったですが、想定した戦い方だったのですか？
「想定はしていました。もちろん監督からは押し込んでいくことが第一という話はありませんが、それとは別に、おそらくヴィッセルはロングボールを多く蹴ってくるため、自分たちのボールにすることが難しいというのも想定していました。ボールを持つ時間が多少なくなっても、我慢する展開からカウンターを狙うというプランを持っていた」

——「ほぼプランどおりに進めた印象ですか？」
「一番大きかったのは先制点を取れたことです。ロングスローも結構あったので、耐える時間もありましたが、2点目のサチくん（戸嶋）のクロスから（山内）日向汰が決めたゴールも、レイソルにしてはあまりない形でした。やっぱりいろいろな形で点が取れるチームが、強いチームだと思います」
——久保選手の3点目につながったプレーは、小泉選手がヴィッセルのミスを見逃さずにプレスをしたことがきっかけになりました。あのプレーだけではなく、全員が細部まで徹底してプレーしていたと思います。
「本場にそういうプレーが大事だったと思います。レイソルは攻撃がフォーカスされますが、ハイプレスにもリカルド監督はこだわっています。その強度はレイソルの強みだと思います」
——ジエゴ選手とのマッチアップはいかがでしたか？
「相手にすると改めて良い選手だと感じました。股抜きをされましたし、結構やられたなという感覚はあります（苦笑）。でも、やり返せたところもありました。結局、ヴィッセルのゴールは二つともジエゴが絡みましたがね」
——今節の相手は名古屋グランパス。久保選手にとっては古巣との対戦になります。

「気負うということはありませんが、負けたくはないですね。選手も多くは入れ替わっていないので、ほとんどの選手を知っています」
——ただ、久保選手が在籍していたときとは監督が替わり、今はペトロヴィッチ監督が率いています。昨シーズンまでは印象が違っていると思いますが？
「今のグランパスも攻撃的なサッカーだと思うので、どちらが主導権を握るかはすごく大事になると思っています。川崎フロンターレ戦を見ていたら、全員の意図が合ったときには本当に良い攻撃をするので、そこをいかに出させないか。理想は僕たちがボールを保持して、それを出させないことです。クロスからゴールを決められる山岸選手、（稲垣）祥くんのミドルシュート、（永井）謙佑さんのスピード、サイドにも良い選手がいますし、手数が多いいメージがあります」
——ジエゴ選手に続いて、今度は小屋松選手とマッチアップする可能性があります。

気負いはないが、負けたくはない

Focus

24MF Tojiro KUBO

久保藤次郎

ます。昨シーズンのレイソルの左サイドを支えた二人です。
「コヤくん（小屋松選手）もとても良い選手なので警戒しています」
——リカルド監督は昨シーズンの反省から「首位に立つと不安になるのではなく、首位に居ることが心地良くなるなければいけない」と、首位に居続けることを重要視しています。
「2025年は追う立場でした。最終節に優勝の可能性はありましたが、他力だったので自分たちが勝っても相手が勝ったら優勝はない。やはり優勝するためには、首位の座を守り続けなければいけないと思います」
——最後にサポーターにメッセージをお願いします。
「今節のグランパス戦も自分たちのサッカーをして、しっかり勝ちたいと思います。今はリーグ戦で3連勝中。これから連勝を続けていくためにも、1試合1試合、気持ちを引き締めて戦います」

